

2019年度 横須賀ロータリークラブ合同例会

三浦学苑インターアクトクラブ ビデオ報告 活動報告書

日時：5月24日(金)14:00～15:00

場所：横須賀商工会議所

参加者：中間試験中のためビデオ報告

報告者：生徒会2年 山本暖歌(報告ビデオ編集担当)

補筆 武田 校正 荒川 伊藤

◆ 活動の意味と目的

- ①. インターアクトクラブとしての活動内容を提唱クラブへ報告をする
- ②. 活動内容や、将来実行しようとする計画内容をプレゼンすることで理解者を増やしていく
- ③. 発信の機会をいかし、自分たちのプレゼン能力を高める
- ④. 目標を立て行動することを宣言することで注目を集め、自らの行動の味方を自分たちでつくる

◆ 活動報告

今年度の横須賀ロータリーの合同例会には、当日が中間試験、地域貢献活動と日程的な調整がつかなかったためにビデオによる報告活動とさせていただき、生徒会役員は参加いたしませんでした。

今回のビデオ報告では、本校の年間活動報告とともに現在、支援活動を行なおうとしている西アフリカにあるブルキナファソという国についての発表も行ないました。ビデオ制作では、昨年の資料や、先生からお聞きした情報、自分で調べた情報を元にパワーポイントと原稿を完成させ、その発表の様子をビデオで撮影して発表しました。当日は、生徒会顧問の武田先生に会場まで行っていただき、ささりんどう祭で使用したブルキナファソについての模造紙の展示と、撮影したビデオの投影と説明をしていただきました。

◆ 活動を通しての感想

今回、私はビデオ発表のための原稿作成と、パワーポイントの制作を担当しました。活動にあたって自分では調べたつもりでも先輩や先生に確認すると情報が足りていなかったり、語弊のある言い方になっていたり、ブルキナファソをきちんと理解出来ていない部分がありました。今後活動していく上では、理解を深めることが最重要になります。多くの情報を理解して行けるように精進していきます。ビデオ撮影では段落ごとで分けて6人で発表しました。練習やリハーサルではミスを見つけることもあって、不安な場面もありましたが、何とか仕上げる事が出来ました。また、顧問の武田先生からは当日の合同例会も無事に終わることが出来たとお聞きしたので、喜びと共に内心ほっとしました。

今回のビデオ発表で学んだことを今後の活動にも活かしていけるよう頑張っていきます。

記：生徒会2年山本暖歌

～ 今回は写真の報告はありません ～